

令和5年度 小樽市立西陵中学校 学力向上改善プラン

1 生徒の実態

- ① 全国学力・学習状況調査では、国語科で3.0p、理科で3.7pと全国平均正答率を上回ったが、数学科は3.4p、全国平均正答率を下回った。数学科では「資料の活用分野」の問題を苦手としている。
- ② 標準学力調査では、全国正答率と比較して数学科はほぼ同等、国語科と英語科では上回り、達成率では国語科と英語科は上回ったが、数学科は4.6p下回った。
- ③ チャレンジテストでは、全道平均と比べて国語科では1・2年生で1.5p、3年生で0.5p、数学科では1年生で1.0p、2・3年生で2.0p下回った。
- ④ 全国学力・学習状況調査結果（児童生徒質問紙）では、自分で計画を立てて勉強をする生徒が増加してきているが、家庭学習が1時間未満の生徒が42.5%いる。

2 学年ごとの定着目標（数値目標）

<国語科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト学期末問題全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題全道平均以上とする。

<数学科>

学年	定着目標
1年	・チャレンジテスト学期末問題全道平均以上とする。
2年	・標準学力調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題全道平均以上とする。
3年	・全国学力・学習状況調査の平均正答率を全国平均以上とする。 ・チャレンジテスト学期末問題全道平均以上とする。

<学習・生活習慣（家庭学習等）>

学年	定着目標
全学年	・「授業のルール」の生徒自己評価で「守っている」を9割以上にする。 ・「早寝、早起き、朝ご飯の生活リズムを整える」の生徒自己評価を7割以上にする。 ・全国学力・学習状況調査で「平日の家庭学習2時間以上」の生徒の割合全国平均以上にする。 ・スケジュール表を活用し、「平日の家庭学習に1時間以上取り組む」生徒を70%以上とする。

3 目標を達成するための具体的な方策

(1) 基礎学力の確実な定着を図る取組

- ① 「音読カード」や「自学自習スケジュール表」の全校的な活用により、学習習慣の確立を図る。
- ② 習熟度別少人数指導やT・Tによる個に応じた指導の充実を図る。
- ③ 朝読書の時間の効果的に活用により、読解力・表現力の育成を図る。

(2) 確かな学力をはぐくむ授業改善の取組

- ① ICTを活用した授業改善に取り組み、理解力の定着を図る。
- ② 授業のルール定着に全職員で取り組み、学習規律を徹底する。
- ③ 研究推進委員会中心に、小学校と連携した授業力の向上を図る。
- ④ 各教科で単元テストやチャレンジテストを効果的に実施する。

(3) 家庭と連携した学習習慣・生活習慣をはぐくむ取組

- ① 家庭学習ノートの実施と指導の充実（各学級・各教科）。
- ② 放課後補習及び長期休業中補習（樽っ子サポート事業）の実施。
- ③ 小中一貫の視点から習慣形成に向けて家庭との連携を進める。

4 実施計画

年月日	計画内容
R5年4月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・学力向上検討委員会「確認テスト」下学年の実施 ・自学自習スケジュール表の取り組み開始 ・朝読書活動の定着への取組徹底 ・家庭学習ノートの実施 ・チャレンジテスト（前年度サポート問題）の実施 ・数学科、習熟度による下位層生徒への対応計画作成
	<ul style="list-style-type: none"> ○R5全国学力・学習状況調査の実施 ○全国学力・学習状況調査 自己採点 ○標準学力調査実施（第2学年）
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・研究推進委員会・各教科部会による計画検討
	<ul style="list-style-type: none"> ○標準学力調査結果分析
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・朝読書との連携による「読書ゆうびん」作成 ・チャレンジテスト（1学期サポート問題）の実施 ・保護者・生徒アンケートの実施・分析
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施
	<ul style="list-style-type: none"> ○R5全国学力・学習状況調査結果分析
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・全教科での授業交流と検証の取組
	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者への調査結果の説明 ○学力向上改善プランの評価・改善
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・「ほっと」の実施 ・公開研究会の実施
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施 ・チャレンジテスト（2学期サポート問題）の実施 ・保護者・生徒アンケートの実施・分析
12月	
R6年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業中補習（樽っ子サポート）の実施 ・職員自己評価の実施分析
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上検討委員会「確認テスト」の実施 ・全国学力・学習状況調査過去問題の実施
3月	<ul style="list-style-type: none"> ○新学力向上改善プランの作成 ・保護者・生徒アンケート分析結果公表（ホームページ等）

5 評価方法

- (1) ①「自学自習スケジュール表」の実施状況の確認による評価
②全教科での授業交流や生徒アンケートによる分析
③時間ごとの提出物等による評価
- (2) ①全国的な調査結果の分析及び生徒アンケート結果の分析
②生徒アンケート「授業のルール」の項目による評価
③校内研究授業における研究協議の評価
④チャレンジテストや確認テスト等の分析
- (3) ①学級・教科担任による家庭学習内容等の評価
②教科担任や学習委員会による活動状況の評価
③生徒アンケート「早寝、早起き、朝ご飯」の項目による評価